

# 桜川文芸

## 俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

継ぎ足しのいのち授かり年惜しむ

鈴木たか子

古稀過ぎの未し方辿る袖子の風呂

小林 啓治

湯豆腐や疑心暗鬼の如く揺れ

小林 フク

父と息と少し距離置く竜の玉

三代みちよ

着膨れて書を読むだけの齢となり

渡辺 いし

とうとうと夜明けの月の冴え返る

入山ひろ子

【茂山俳句会】

どんぐりに子育ての日々よみがへる

安蔵久美子

親と子の手話なごやかに日向ぼこ

松崎 いま

柿紅葉散つて梢に空のこる

植田 祥雲

たくましき冬芽に日々を励まさる

田崎 信子

大根干す背に疵のゐるやうな

鈴木ノブ子

枯野ゆく一番遠い灯り見て

井坂 洋子

紅葉して虚空まさぐる大櫛

吉原 秀子

髪ほどくくらしいの安堵熱爛す

海老沢幸子

玉砂利にまたも躓く七五三

泉 健作

小春日や法衣の繕ひ一目づつ

竹林 てる

歳時記をめくる幸せ年暮るる

鶴見 菊江

存分にふくらんである干布団

大関 くに

万国旗揺れて北吹く祭果つ

宮本 芳江

寒風を真つ直ぐにゆく無帽の子

萩原 信一

蕎麦刈るや煙棚引く八溝山

海老沢静夫

七五三袂担ぎてもどりけり

飯山 昭

## 短歌

【真壁短歌会】

新年は不況と聞きて掛け替えし筆致豪放

「泥舟」の幅

あの人の植え下されし石路は清やかに咲

けり黄の花高く

岡村 次雄  
増田 芳江

改良され紅く熟れたる柘榴なればそつと

含みて甘さたしかむ

根本 英子

青空の下で色づける柚子眺め夫と飲むお

茶うまみ増したり

塚本とよ子

目葉と孫に偽り横を向く娘との諍かい胸

に重たく

渡辺ハルエ

【一般投稿】

夜明け前夢を破りし明ヶ鴉 笑顔の亡母

の幻消える

大山 しげ

奥州路紅葉見つつ寺めぐり藤原の栄華金

色堂に見る

梅井 光子

## 俚謡

【さくら俚謡会】

明けてめでたい 筑波の朝日

拝むしあわせ 牛の年

つく志輝美

牛の歩みで 転ばず急がず

ひとつありやいい 夢に酔う

稲葉 建正

お年玉かよ ばらまき給付

呉れりやまんざら邪魔じゃない

田 哲人

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ